

田川観光ツアー
福岡都市圏に田川をPR 観光客の誘客へ

田川の観光資源を発信する「たがわ〜るどプレスツアー」が3月27日から2日間行われ、参加した福岡都市圏のメディア関係者が福智の魅力を体感しました。方城炭鉱の貴重な遺構が残る日立マクセルや町特産品「方城すいとん」などに触れた参加者は、「貴重な史跡や文化がたくさんあり、素晴らしいところですね」と口々に話し、福智の魅力をかみしめていました。



↑ 国登録有形文化財「九州日立マクセル赤煉瓦記念館」の説明を受ける参加者。

↓ 背筋を正し、少し顔をこぼらせながら新たなスタートを切る新一年生（上野小）



市内8校で入学式
桜のじゅうたんを踏みしめて新たな一歩

町内の小学校5校が4月8日に、中学校3校が4月9日にそれぞれ入学式を行いました。本年度は、小学校218人（市場小56・上野小20・金田小74・伊方小55・弁城小13）、中学校231人（赤池中82・金田中100・方城中49）の新1年生が、期待を胸に新たな一歩をしっかりと踏み出しました。上野小では、6年生が学校紹介を行い、和やかに新入生を迎え入れていました。

↓ 「オーラーヤッサ」とかけ声を合わせ、町をにぎわす子ども山笠（写真＝金田町部）

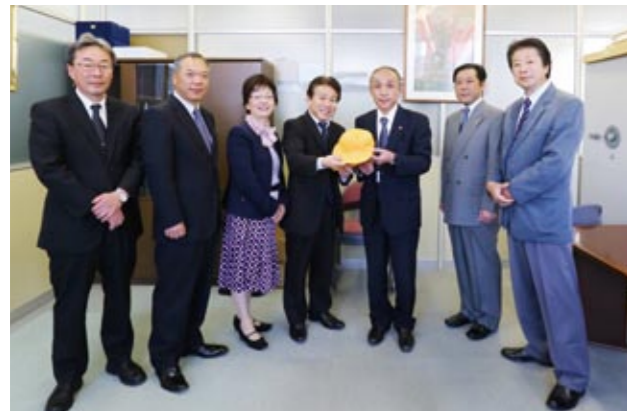


金田菅原神社春祭りで子ども山笠運行
大人顔負けの子ども山笠をお披露目

菅原神社の春祭りが4月19日から2日間行われ、^{はやし}囃子の音色と威勢のいいかけ声が春空に響き渡りました。この春祭りは長らく途絶えていましたが、青少年の健全育成を目的に、平成9年に復活。大人主体の秋の神幸祭とは異なり、子どもが主役の祭りとして春の風物詩となっています。当日は、黄色い声援が飛び交うなか、子ども山笠が堂々と町を練り歩いていました。

下田川ライオンズクラブが交通安全帽子を寄贈
交通事故防止を願い黄色帽子を児童に

下田川ライオンズクラブが4月2日に教育委員会を訪れ、新1年生218人のために交通安全帽子を寄贈しました。帽子はドライバーの目を引く目立つ黄色で、児童の健やかな成長と交通安全への願いが込められています。下田川ライオンズクラブの木戸博文会長は「児童のかけがえない命を守るために活用してほしい」と話し、黄色い帽子に思いを託していました。



↑ ドライバーへ注意喚起する「黄色帽子」を寄贈する木戸博文会長。（写真中央左）

↓ 希少種「エドヒガン」の桜で、推定樹齢は600年以上。高さは約23メートルで、県内最大級を誇ります。



満開の虎尾桜
福智の春を告げる孤高の巨桜

新緑の福智山の谷間に、ひっそりと可憐な花を咲かせる名桜「虎尾桜」。毎年数千人以上を魅了するこの巨桜が、今年も3月下旬から4月上旬にかけて山腹を華やかに彩り、福智に春の訪れを告げました。ここ数年は花芽が少なく、町内外から心配する声が多数上がっていましたが、「虎尾桜を心配する世話人会」による地道な環境整備が実を結び、今年は枝の端々にまで見事な緋色を披露。満開時には訪れた人がその神秘的な美しさを放つ^{ひいろ}行まいに思わず息をのみ、時を忘れて仰ぎ見る光景が多く見られました。

トヨタスプリングフェスタ2014
トヨタ春の祭典で福智名物を発信

トヨタ九州主催イベント「スプリングフェスタ」が4月6日に宮若市で開かれ、出店した福智町が、詰めかけた来場者に町のご当地グルメをPRしました。今回は福智特産品の「方城すいとん」「大福おばちゃんのかしわおにぎり」「ふくち☆リッチジェラート」を用意。旬の食材をふんだんに使った福智オススメの逸品で、来場者に福智ならではの魅力をアピールしました。



↑ 福智町のブース前では多くの人々が足を止め、全品完売する大盛況となりました。

↓ 興国寺の文化に触れる参加者。初めて知る内容に感嘆の声が上がっていました。



郷土に眠る自然と史跡を見つめて
虎尾桜鑑賞会と自然観察・史跡探訪

虎尾桜や興国寺、上野焼の窯跡など福智山の裾野に点在する自然や史跡を巡る「福智山探訪」が、3月30日に行われました。「虎尾桜を心配する世話人会」が郷土への理解を深めようと企画。参加した13人が地元で眠る史跡の由来や歴史的背景を学びました。参加者は「長年住んでいても知らないことが多く、勉強になった」と話し、福智の魅力を再発見していました。